

第11課 交通機関（その1）

1. この課のねらい

- (1) 目的地に行くために、どのバスに乗ればよいか尋ねる言い方を覚えさせる。
- (2) 正しく目的地で降車するために、そのバス停を確認する方法を身に付けさせる。
- (3) 車内アナウンスなどバス利用に必要な知識を紹介し、その利用の仕方、対応の仕方を身に付けさせる。
- (4) 目的地までの運賃を尋ねる言い方を覚えさせる。

2. 学習項目とその扱い方

〔会話Ⅰ〕

(1) 学習項目表

区 分	使 用	理 解
最重要項目	○あのう、このバス 第三中学の前で止まりますか。(1) ○このバス、第三中学へ 行きますね。(3)	○このバスは、行きませんね。ええと、18番の川口駅西口行きが 行くと思いますよ。(2) ○行きますよ。(4)

(2) 準備

- ①バスターミナルの略図（番号や行き先が書かれているもの）及びバスの絵や写真を用意する。バス停の名称は、学習者がよく知っているものもしくは第○小(中)学校前、××○丁目、××駅東(西・南・北)口など、学習者の身近にあってすぐ使えるものを選ぶ。
- ②バスターミナルの略図を黒板にはり(あるいは書き)、その略図のように、机や椅子を配置すると臨場感が出る。
- ③また、本文中の「第三中学」「川口駅西口行き」などの箇所を、学習者が知っているものにかえた応用会話を三つ四つ作ってテープに録音しておく。

(3) 導入

- ①バスターミナルの略図を見せながら、「このバスは～へ行きますか」「18番のバスは～で止まりますか」などと質問をして、学習者の予習の程度を確認する。
- ②次に、本文や応用会話のテープを聞かせて、内容について質問してみる。

(4) 練習

- ①本文や応用会話のテープを繰り返し練習する。
- ②その後、次のような練習をする。黒板にバスターミナルの略図を書き、止まっているバスの位置を示しておく。教授者はそのバスの前に立ち、学習者に、そのバスが目的地（あらかじめ適当な名称を決めておく）に行くかどうか聞かせる。慣れてきたら学習者同士で会話の練習をさせる。また、バスターミナルの略図のコピーを学習者に渡しておいて、それを見ながら会話の練習をさせてもよい。
- ③教室で練習した後で、近くのバスターミナルに連れて行き、実際の場で練習した日本語を使わせるようにする。
- ④動作の行われる場所を示す「で」の練習をする。学習者に、まず「昨日、どこに行きましたか」と尋ねる。学習者が「〇〇へ行きました」と答えたら、続いて「〇〇で何をしましたか」と尋ねる。このやりとりがスムーズにできるようになったら、次に「きのう、____時ごろ、どこにいましたか」「〇〇で何をしましたか」といったやりとりで、ものの存在する場所を示す「に」との違いを理解させる。このような練習をした後で、〔1. 会話練習〕をやってみる。

〔会話一 2〕

(1) 学習項目表

区 分	使 用	理 解
最重要項目	○ちょっと すみません。今の放送分からなかったんですが。第三中学は、まだですか。(1)	○あ、次ですよ。そのブザーを押して。(2)

(2) 準備

学習者が利用すると思われるバスの車内放送をテープに録音しておく。

(3) 導入

- ①バスの乗り方についてまず教える。「いつもバスに乗りますか」「最近バスに乗りましたか」などの質問から始めて、どんなバスだったか、どういうふうに乗ри、どういうふうにお金を払ったかなどの質問をしていく。([関連表現] 2 参照)
- ②次に、会話の導入として準備した車内放送を聞かせる。「このバスはどこへ行きますか」「次はどこですか」「このバスはどこ行きですか」などの具体的な質問を出して学習者とやりとりを行う。

(4) 練習

- ①「バスの中です」と言ってから、車内放送のテープを流し本文のようなやりとりをする。目的地はあらかじめ決めて伝えておく。
- ②「まだ」については A：もう～ましたか。 B：いいえ、まだ～ていません。というようなやりとりをしながら練習すると分かりやすい。〔3. 会話練習〕を指示どおりに行う。

〔会話－3〕

(1) 学習項目表

区 分	使 用	理 解
最重要項目	○これは、どうすればいいんですか。 (3) ○じゃ、「6」だから 120円ですね。 (5) ○駅までです。(7)	○降りるときに、この番号のところ の お金を 払えば いいんです。 (4) ○どちらまでですか。(6) ○じゃあ、180円ですよ。(8)
重 要 項 目		○遠くまで 行くと、高くなります よ。(6)

(2) 準備

- ①テープレコーダー、電卓、知恵の輪、ジグソーパズルなどを用意する。
- ②また、会話練習用に、6番が120円になっているバスの運賃表（教科書P.152参照）と整理券（作り物でよい）を用意する。〔関連表現〕の2を読んでおくことを宿題にする。

(3) 導入

- ①「いつバスに乗りますか」「どこから（どこまで）乗りますか」「お金はいつ払いますか」などと問いかけて、バスの利用状況及び利用法について質疑応答を行う。（〔関連表現〕2参照）
- ②整理券の扱い方についても、教授者が整理券を手にとって、「これは、どうすればいいんですか」と学習者に尋ねる。このとき、用意したバスの運賃表を黒板に掲げ、それによって説明させる。いろいろな番号の整理券で、学習者同士でやりとりをさせる。その後、本文のテープを聞かせる。

(4) 練習

- ①本文を繰り返し練習した後、教授者が運転手、学習者が林さん及び隣の人になってロールプレーを行う。整理券の番号や行き先をかえて練習する。
- ②「どうすればいいんですか」については、用意したテープレコーダー、電卓などを使って、「これはどうすればいいんですか」という表現を使って、その使い方を尋ねる練習をする。教授者が、実際に「こうして……こうして……」とやってみせながら説明していく。〔4. 会話練習〕参照)
- ③ ②の練習が一通り終わったら、「ここがスイッチですから、ここを押すと動きます」「ボリュームはこれですから、これをこういうふうに回すと音が大きくなります」などを使い、原因理由の「から」の練習に移行していく。このとき、〔5. 表現練習〕を用いる。
- ④次に、「から」と「まで」を練習する。〔6. 会話練習〕参照) この文型は、「昨日の夜、何時から(何時まで)勉強しましたか」「昨日はどこから(どこまで)電車に乗りましたか」など、学習者の生活を話題にしていろいろ練習できる。
- ⑤〔イ形容詞〕の「～かった」「～くなかった」という表現については、〔2. 表現練習〕を用いて、形の練習をしてから次のような練習を行う。

例 1. 新幹線に乗る、早い

A: きのう新幹線に乗りました。

B: そうですか。早かったですか。

A: ええ、とても早かったです。

- | | |
|------------------------|---------------|
| 1. 日光へ行く、よい | 2. ビデオを買う、高い |
| 3. 新しいスーパーで買物、安い | 4. 新宿へ行く、人が多い |
| 5. 駅前の喫茶店でコーヒーを飲む、おいしい | |

例 2. 新幹線に乗る、早い

A: きのう新幹線に乗りました。

B: そうですか。早かったですか。

A: いいえ、それほど早くありませんでした。

B: へえ、あまり早くなかったんですか。

入れかえる言葉(キュー)は、例 1 と同じ。

- ⑥この後、本文に出てくる「(高) くなります」の形を練習しておくといよい。「高くなります」「安くなります」「寒くなります」「大きくなります」など、物の値段や気温、

子供の成長などの話題を導入して練習する。また、〔2. 表現練習〕では〔イ形容詞〕と動詞の「～ない」「～なかった」という表現を整理し練習しておくといよい。なお、〔イ形容詞〕の「～く」「～くない」という表現は、第9課の〔1. 表現練習〕で扱っているが、まだ定着していないようなら復習する。

3. 文型・文法に関する参考事項

助詞「を」「に」「で」「と」の整理

区 分	例 文	意味・用法
助 詞	(1) ○うちでテレビ <u>を</u> 見ます。 ○喫茶店でコーヒー <u>を</u> 飲みます。 (2) ○廊下 <u>を</u> 走ります。 ○仙台 <u>を</u> 通って青森へ行きます。 (3) ○東京駅 <u>を</u> 6 時に出発します。 ○バス <u>を</u> 降ります。	目的語 通過点・経由 出発点・起点
	(1) ○机の上 <u>に</u> 本があります。 ○兄は大阪 <u>に</u> 住んでいます。 (2) ○7 時 <u>に</u> 上野駅に着きました。 ○去年の10月 <u>に</u> 日本に came。 ○弟 <u>に</u> 古い辞書をあげました。 (3) ○兄 <u>に</u> 本をもらいました。 ○先生 <u>に</u> 聞きました。 (4) ○6 時 <u>に</u> 友達に会います。 ○学校は 8 時半 <u>に</u> 始まります。	ものの存在する場所 到着・帰着点 影響や作用の出所 動作の時点
	(1) ○鉛筆 <u>で</u> 書きます。 ○航空便 <u>で</u> 送ります。 (2) ○うち <u>で</u> テレビを見ます。 ○学校 <u>で</u> 日本語を勉強します。	手段 動作・行為の行われる場所
	(1) ○先生 <u>と</u> お昼ごはんを食べます。 ○子供達 <u>と</u> 公園へ行きます。 (2) ○隣りの子供 <u>と</u> けんかしました。 ○今晚、友達 <u>と</u> 会います。	「一緒に」の意味 動作と一緒にいる相手